

しゅうなん

議会だより

平成28年

5・1

No.54

リニューアルしました!

TOPICS

定例会の概要

会派質問

特集 政治倫理条例の改正

臨時会の概要

委員会レポート



(仮称) 新徳山駅ビルの建設予定地



(仮称) 新徳山駅ビル安全祈願祭の様子



今定例会のここに注目!

新徳山駅ビルの 設置条例が可決

徳山駅周辺イメージ模型

概要

第2回定例会を2月24日から3月16日までの22日間開催しました。今定例会では、新年度の一般会計や特別会計予算、新徳山駅ビルに整備される賑わい交流施設や図書館に関する条例制定などの市長提出議案75件、委員会提出議案3件を審議しました。

本会議での討論

徳山駅前賑わい交流施設及び図書館については関連があるため一括討論がありました。

賛成

図書館司書の配置や指定管理者に不測の事態があった場合の教育委員会の直営が担保されている。また休館日を設けず、開館時間も長いので市民サービスが飛躍的に増大するので賛成する。

反対

市が責任を持って市民に保証すべき図書館サービスは、華やかでにぎやかな場の提供ではない。公立図書館本来の基本的な役割を果たす内容になっていないので反対する。

反対

図書館は滞留型施設であり、よほどの構想計画がなければ回遊性は起きない。徳山駅前地下駐車場のリニューアルやバリアフリー化も万全ではなく、こうした状況で中心市街地徳山駅周辺のにぎわいの取り組みが、全体構想として見えるのか大きな疑問であるため、反対する。

問 施設の利用料金は指定管理者の収入とあるが、他に例があるのか。また、通常時とイベント時で料金を変えることがあるのか。
答 利用料金制度は、徳山駅前駐車場で導入している。利用料は、市が上限を定め、その中で指定管理者が決めるが、その都度料金を変える運営は想定していない。

問 指定管理者に不都合が生じた場合等に、指定管理者を解除する条文が見当たらないが、どうか。
答 契約時に条項を付けることで担保したい。

反対討論 指定管理者の業務に中心市街地のにぎわいと交流の創出に関する業務が上げられ、これに民間活力導入図書館が該当するので認められない。

問 職員待遇や図書館のサービス内容が懸念されるが、どうか。
答 図書館部分の指定管理料は市が直営する場合の水準で約1億円である。また、図書館では、人材育成が重要で、そういった運営に力を入れ、しっかりしたサービスができる事業者を見極めたい。

問 教育委員会が必要があると認める時は、図書館を管理できるとあるが、どういったケースを想定しているのか。
答 不測の事態も含め、指定管理者が管理できない場合、市が直営できるということである。

問 図書館や賑わい交流施設を全て1つの指定管理者に依頼するが、図書館のみ直営も可能なのか。
答 賑わい交流施設条例にも図書館の管理については、図書館条例で定めると規定しており、別々に管理しても問題はないと考えている。

賛成討論 一定の図書館司書の配置、必要があると認める時には、教育委員会の直営管理ができることが担保されているので賛成する。

委員会審査結果 可決(賛成多数)

環境建設委員会での審査

中心市街地のにぎわいと交流の場を創出し活性化を図るため、賑わい交流施設の内容、指定管理者の業務や使用料等を定めるものです。



新徳山駅ビルの完成イメージ

可決
(賛成多数)

にぎわいと交流の場を創出する周南市
徳山駅前賑わい交流施設条例について

可決
(賛成多数)

徳山駅前図書館の指定管理による
管理特例を定める条例制定

教育福祉委員会での審査

徳山駅前図書館の指定管理による管理の特例について実施事業や業務の範囲等を定めるものです。



徳山駅前図書館の完成イメージ

委員会審査結果 可決(賛成多数)



の 会 例 定

可決
(全会一致)

鹿野地域の自立促進のための 過疎地域自立促進計画の策定について

過疎地域とされる鹿野地域において、総合的かつ計画的な自立促進に向けた施策を推進するため、平成28年度から32年度までの5カ年を期間とする計画を定めるものです。

企画総務委員会での審査

鹿野地域で、最も住民の関心が高いのは、総合支所等の整備方針であるが、計画に表記されていない。当初から方針を示しておくべきではないか。

現時点では総合支所等の整備方針がはっきり決まっておらず、具体的な方向性が見えないため、今回は公共施設再配置計画に沿って行うという内容とした。平成28年度以降、地域住民とワークショップ等により方向性を検討することとしており、地域の方との議論が深まった段階で、計画の変更にたいして対応したいと考えている。

医師確保の問題は、鹿野地域だけでなく、中山間地域全体の課題である。「地域の実情に合った診療体制の再構築が課題」として、財政面も含めて現時点での認識は、

今後の見通しについては、地



今後、整備の進む鹿野総合支所

域住民からも心配する声をいただいており、地域医療課と連携をとって、状況の確認をしている。医師確保については、過疎債を財源としたソフト事業により、取り組んでいくことになると考えている。

鹿野地域をどういう形にもっていくのかという長期ビジョンに立って、過疎債を利用しながら施策を実施していく必要がある。重点を絞らなければ、無駄な投資になる可能性もあるが、どうか。

長期的な考えは、大変重要と考えており、計画策定に当たっては、関係所管課と、地域から意見を集めた。長期的に考えながら進める。

賛成討論 今後、地域の将来の姿を見出しながら、積極的に取り組んでもらいたい。

委員会審査結果 可決(全会一致)

“共に。” 未来へ贈りたい 周南市をつくる



平成28年度は、市議会や市民の皆さんと議論を重ね、“共に”進めてきた「(仮称)新徳山駅ビル建設」「新庁舎建設」「防災情報収集伝達システム整備」など、大型プロジェクトが動き出す。無限の市民力、そして全国に誇る地域資源を最大限に生かし、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立することにより、人口流出の抑制、移住、定住促進に繋がる取り組みを加速させ、“共に”未来へ贈りたい周南市(まち)をつくりたい。

施政方針がありました。
定例会初日、木村市長の平成28年度の市政運営に対する

平成28年度施政方針

《平成28年度の当初予算》

一般会計	631億4,400万円
特別会計	365億1,373万円
企業会計	491億5,886万7,000円

※当初予算の主な事業については
4～5ページをご覧ください。

《主な取り組み》

- ・妊娠、出産、子育てに関するワンストップ相談窓口「子育て世代包括支援センター」の開設
- ・共創プロジェクトの立ち上げ
- ・(仮称)新徳山駅ビル整備
- ・台湾を中心とした国際観光
- ・中学校普通教室への空調設備の設備
- ・(仮称)西部地区学校給食センター整備
- ・サテライトオフィス誘致
- ・自治体クラウド導入

※施政方針に対する質疑は、7～12ページの会派質問をご覧ください。

可決
(賛成多数)

平成28年度 一般会計予算

予算決算委員会では、3月7日から9日の3日間、新年度予算の審査を行いました。予算決算委員会審査内容（一般会計の主な事業から）は下記の通りです。

新 新規事業

重 特に重点的に実施する事業等

拡 拡充事業

〔総〕 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」掲載事業

本会議での討論

賛成

❖ 妊娠、出産、子育てに関するワンストップ相談窓口、子育て世代包括支援センター開設は、周南市版ネウボラ（一人一人に合ったきめ細かで、切れ目のない支援を行う場所や仕組み）

重 子育て世代包括支援センター事業〔総〕



専門職等による子育て相談

事業費 1,289万円
事業の概要 妊娠・出産・子育てに関するワンストップ相談窓口を設置し、全ての妊産婦、乳幼児、児童とその家庭への、切れ目のない支援体制と地域全体で子育てを支える環境を整備する。

問 今後、健康増進課と子育て支援課が子育て世代包括支援センター事業を行うが、各地域の母子保健推進員との連携や役割はどうなるのか。
答 地域で活動される事業については、健康増進課が母子保健推進事業として委託をし、子育て支援の活動についても共同実施として、母子保健推進協議会、母子保健推進員に取り組みをお願いする。

新 共創プロジェクト事業〔総〕



夜市地区での対話集会

事業費 2,591万円
事業の概要 市民の連携による「新しい公共」の活動の支援や市民主体の地域づくりを促進し、共創の地域づくりの実現を目指す。

問 プロデュースおよび人材育成業務委託の契約相手方の詳細と人材育成の方向性は。
答 委託先の事業者の代表は、周南ふるさと大志の宮本倫明氏で、さまざまな分野の専門家とのネットワークにより、人的支援を行っていた。事業のパートナーは、ふるさと振興財団を考慮しており、宮本氏の後継者を育成するため、財団の若手・中堅職員を中心に、4年間で80名の人材育成を想定している。

重 コンビナート電力利活用推進事業〔総〕



事業費 2,548万円
事業の概要 コンビナートが生み出す電力を中心に市街地で利活用することにより、中心市街地の活性化を図る。

問 総事業費と全体の計画はどうなっているのか。また、電力供給の対象は、どういった施設を想定しているのか。
答 今から構想をつくるが、設計費が約2500万円で、総事業費は約5億円を見込んでいる。対象は、公共施設がメインとなり、現時点では新徳山駅ビルと新庁舎の2つで、中心市街地の公共施設以外への活用は、今後の検討になる。

拡 動物園魅力拡大「ズー夢アップ21」実施事業〔総〕



周南の里ふれあいゾーン
るんちゃ♪るんちゃ

事業費 1,440万円
事業の概要 周南の里ふれあいゾーンのオープンに合わせ、全天候下での小動物ふれあい体験を開始するなど、動物園の魅力を入園者が実感できるソフト事業を実施し、入園者数の増加を図る。

問 事業内容は昨年度と大きく変わっていないのに、予算額が増えているが、増額の内容は。
答 3月21日に新たに設置される周南の里ふれあいゾーンは、雨天でも利用でき、ほぼ毎日、フルタイムで小動物と触れ合える時間を提供していく。そのため、臨時職員の増員が必要となり、前年度よりも増額している。

み)の構築を加速化させる手段として有効であり、着実に進められるよう期待する。

❖ こども医療費助成事業は、小学6年生までに助成を拡大されたことを評価し、今後、中学生までを視野に入れるとのことで大いに期待する。

❖ 鹿野総合支所、新南陽総合支所整備への取り組み、長穂および和田の支所、公民館の再配置がいずれも今後加速化され、3年以内にその姿が見えてくることを大いに期待している。

❖ 水素事業や国際バルク戦略港湾の整備、創業・起業支援の取り組みは、市が発展していく上で欠かせないものになってくるため、しっかりと取り組んでもらいたい。

反対

❖ 本庁舎の建設費用が増え、110億円になったと示されたが、税金を使うため、不用なものを見直し、無駄を省き予算を縮小すべきである。

❖ 公立保育所の再編整備の取り組みを加速し、民間事業者が小規模保育所や認定こども園を建設するが、保育士の待遇を改善し、公的責任で保育行政を行うべきである。公的保育の大きな後退で、保育の質が懸念される。

新 地域連携・低炭素水素技術実証事業(総)

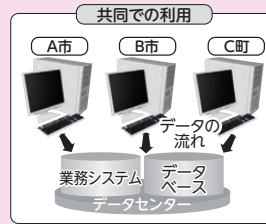


イワタニ水素ステーション
山口周南

事業費 14,281万円
事業の概要 地域の実情に応じた水素サプライチェーンの構築を目的として、さまざまな水素関連機器による実証事業を実施し、水素の利活用を図り、低炭素社会の実現に向けた取り組みを行う。

問 カーシェア事業の内容及び必要性は何か。
答 実証事業で市が用意した燃料電池自動車市内のカーシェア業者に渡し、使用申し込みの受け付け、車の清掃、データ収集等の業務委託をすることを考えている。
また、本事業の目的は、多くの市民に燃料電池自動車に乗って、実感してもらい、利活用の推進に努めるためである。

新 電子計算組織管理事業(自治体クラウド導入)



事業費 945万円
事業の概要 4市1町(周南市、下松市、光市、柳井市、阿武町)での自治体クラウド導入により、情報システム関連経費の削減や、事務の効率化、住民サービスの向上を図る。

問 自治体クラウド導入のための経費は、準備段階からの費用も含め幾らか。また、導入による費用削減効果は。
答 システムが稼働する平成30年度から39年度までの、10年間の債務負担行為で、約14億7000万円を計上しており、情報システム共同利用導入支援業務委託料として、28年度に945万円を計上している。また、10年間で約7億2600万円の経費削減が見込めると試算している。

重 新南陽総合支所整備検討事業



今後整備の進む
新南陽総合支所

事業費 860万円
事業の概要 市民の暮らしを身近に支える地域の拠点施設として、新南陽総合支所の整備の方向性を検討し、総合支所敷地の有効活用を図るため、測量及び道路設計業務を実施する。

問 市民の安心感、信頼感を得るためには、できるだけ早い時期に、しっかりと整備の方向性を出し、取り組み姿勢を見せるべきと考えるがどうか。
答 まずは安心安全を最優先とし、西消防署を先行して建設したい。また、平成30年7月までは本庁機能が、あるため、庁舎の解体等、目標スケジュールを定めて、スピード感を持って計画的に取り組んでいきたい。

重 中学校普通教室空調設備整備事業(総)



事業費 1,030万円
事業の概要 安心して快適に学べる教育環境確保のため、中学校の普通教室に空調設備を設置する。

問 公平公正な教育環境整備ならば、全学校一斉同年齢ごとに整備すべきでは。また、先行して行う5校の選定理由は。
答 1度に整備を行うPF1の手法も検討したがメリットがなく、学年ごとの整備も、各学校に長期間授業に影響が出るため、年次の整備の結論を出した。環境面、また多くの生徒に快適な環境を提供するとの視点から、平成28年度の実設計等は学校の規模順で5校を選定した。

議案等の議決結果



|| 賛成多数で可決 ||

平成28年度予算

- ・一般会計予算⇒631億4,400万円 (詳しくは4・5ページ)
- ・国民健康保険特別会計予算⇒197億69万8,000円
- ・後期高齢者医療特別会計予算⇒21億9,706万8,000円

- ・水道事業会計予算⇒49億7,563万3,000円
- ・介護老人保健施設事業会計予算⇒4億2,037万9,000円

平成27年度補正予算

- ・一般会計補正予算 (第5号) ⇒4億8,562万3,000円増額

条例改正など

- ・市長等の給与に関する条例の一部改正⇒平成27年人事院勧告に伴う期末手当の所要の改正
- ・市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正⇒平成27年人事院勧告に伴う期末手当の所要の改正
- ・保育の実施に関する条例の一部改正⇒保育所に加え、認定こども園等の新たな施設で保育を利用することについての所要の改正
- ・介護老人保健施設使用料手数料条例の一部改正⇒介護保険法の一部改正に伴う多床室の使用料の改正
- ・国民健康保険条例の一部改正⇒国民健康保険法施行令の一部改正に伴う所要の改正
- ・徳山駅前賑わい交流施設条例制定⇒徳山駅前賑わい交流施設の設置及び管理に関して必要な事項を定めるもの (詳しくは2ページ)
- ・徳山駅前図書館条例制定⇒徳山駅前図書館の設置に伴う所要の改正 (詳しくは2ページ)
- ・図書館条例の一部改正⇒周南市立徳山駅前図書館の設置に伴う所要の改正

|| 全会一致で可決 ||

平成28年度予算

- ・国民健康保険鹿野診療所特別会計予算
- ・介護保険特別会計予算
- ・簡易水道事業特別会計予算
- ・地方卸売市場事業特別会計予算
- ・国民宿舍特別会計予算
- ・駐車場事業特別会計予算
- ・下水道事業会計予算
- ・病院事業会計予算
- ・モーターボート競走事業会計予算

平成28年度補正予算

- ・一般会計補正予算 (第1号)

平成27年度補正予算

- ・一般会計補正予算 (第6号)
- ・国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)
- ・国民健康保険鹿野診療所特別会計補正予算 (第2号)
- ・後期高齢者医療特別会計補正予算 (第3号)
- ・介護保険特別会計補正予算 (第3号)
- ・簡易水道事業特別会計補正予算 (第3号)
- ・地方卸売市場事業特別会計補正予算 (第2号)
- ・国民宿舍特別会計補正予算 (第2号)
- ・モーターボート競走事業会計補正予算 (第3号)

条例改正など

- ・一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
- ・工事請負契約の一部変更 (樋口配水池築造工事)
- ・行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定
- ・人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正
- ・過疎地域自立促進計画の策定について (詳しくは3ページ)
- ・職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
- ・報酬及び費用弁償支給条例の一部改正
- ・介護老人保健施設事業の設置等に関する条例の一部改正
- ・光市の公の施設の周南市民の利用について
- ・水道施設の管理に係る事務の委託について
- ・工事請負契約の締結 (太刀野配水池築造工事)
- ・地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例制定
- ・議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の廃止
- ・市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の廃止
- ・山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減、共同処理する事務の変更、共同処理する事務の構成団体の変更及びこれに伴う規約の変更
- ・政治倫理の確立のための周南市長の資産等の公開に関する条例の一部改正
- ・職員の退職管理に関する条例制定
- ・職員退職手当支給条例の一部改正
- ・熊毛不燃物埋立処分場条例の廃止
- ・空き家等の適正管理に関する条例の一部改正
- ・徳山駅西駐車場条例制定
- ・火災予防条例の一部改正
- ・消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- ・自転車等駐車場条例の一部改正
- ・消費生活センター条例制定
- ・手数料条例の一部改正
- ・建築審査会条例の一部改正
- ・管理職手当支給条例の一部改正
- ・指定管理者の指定について (13件)

委員会提出議案

- ・議会会議規則の一部改正
- ・政治倫理条例の全部改正 (詳しくは13ページ)
- ・議会委員会条例の一部改正

|| 全会一致で同意 ||

- ・人権擁護委員候補者の推薦



新年度のまちづくりを問う!



会派質問

議員名は代表者、副代表者、五十音順で掲載しています。

新誠会



〔議員名〕
 兼重 元、田村勇一
 坂本心次、清水芳将
 立石 修、土屋晴巳
 中津井求、福田健吾
 福田更江子、米沢痴達

〔施政方針質疑〕 社会で育む少子化対策

問 周南市版ネウボラの内容は。

答 「子育てするなら周南市」の実現に向けて、全ての妊婦乳幼児、その家族を対象に、地区を担当する町の保健師が関係機関と連携して、一人一人に合ったきめ細かで、切れ目のない支援を行う場所や仕組みのことである。担当部署は4月から設置することも健康部の中の健康づくり推進課で対応する。

用語説明 ※ネウボラ

フィンランドにおいて、妊娠期から出産、子供の就学前までの間、母子とその家族を支援する目的で、地方自治体が設置、運営する拠点。「ネウボラ」は助言やアドバイス、「ラ」は場・場所を意味するフィンランド語。

問 ども医療費の助成制度拡充の考え方はどうか。

答 平成28年1月に周南市ま

ち・ひと・しごと創生総合戦略で議会と協議し、その方向性を示した。まず、新たな財源の確保、国や県制度の創設・改正、先行事例の取り組み効果など、情報収集に努めるとともに、さまざまな社会要因なども加味し、引き続き調査研究していく。

問 子育て応援ミーティングを実施したが、意見を聞いた後の予算措置はどうか。

答 子育て支援センターのない地域での出張ひろばの拡充、子育て支援センターの休日開所、遊び場、外出先の確保、また、子育て中の男性を対象としたセミナーの開催等で母親、父親の育児の負担や不安感の軽減を図り、家族や社会全体で子育てを支える機運を高めていこうと考えた。医療費の助成制度の拡充、ども健康部の組織設置、周南市版ネウボラの制度改正等、子育て応援ミーティングを通じてさまざまな政策展開を考え、予算付けをした。

問 児童クラブについて、県の総合庁舎等、公共施設の活用を図るとあるが、具体的な内容は。

答 平成27年度は徳山、遠石

菊川小学校の5年生以上の児童の受け入れができなかった。28年度は、徳山小学校について、周南総合庁舎の空きスペースが使用可能となった。今後も状況により、今回のようなケースを視野に入れ、児童クラブの開設に取り組んでいく。

休日開所については、試行的に行い、家族が気楽に参加できるイベントや保護者向けの子育て支援講座を開催する等、親子の居場所のニーズを把握していきたい。

問 子育て支援センターのない地域での出張ひろばの拡充と子育て支援センターの休日開所の詳細は。

答 出張ひろばは、市内中学校区を基本に12の地区に分け、子育て支援拠点のない5地区で、平成27年度末までに92回の開催を予定しているが、28年度からは親子で遊べる場の拡充を図り、135回の開催を予定している。



出張ひろばの様子

問 防災情報収集伝達システムが具体化されていくが、前回の失敗をどう生かすのか。

答 平成27年度に実施設計を終え、28年度から30年度までの3カ年間でシステム全体の整備工事等に取り組み。また、議会や専門家、市民の皆さんと共に事業を進めることが大切であり、常にフィードバックしながら、公平公正な事業の進め方をしたい。

問 自主防災組織活動への助成制度の見直しの内容は。

答 現行の補助制度により平成27年度末で組織率が95パーセントを超え、一定の目標が達成された。28年度からは、この自主防災組織の主體的な活動支援を重点に内容、補助率の見直しを行った。

まちなぎわいづくり

問 コンベンションシティー推進のためのインバウンド受け入れとは何か。

答 外国人のニーズを踏まえ、

適切な情報発信や誘客活動を行い、本市に観光に訪れてもらいたいと考えている。特に親日家が多く、児玉源太郎の縁で歴史的なつながりがある台湾を中心に国際観光に取り組む。平成28年度は、二ミズの検証後、台湾における観光PR活動を行っていききたい。

自立した地域づくり

問 第一次産業の振興策を前に進めるとあるがどうか。

答 道の駅ソレーネ周南を中心に、しゅうなんブランドを周南地域の関係団体と連携を図りながら、市内産の農林水産物の利用促進と新たな販路の開拓を目的として、市民、また県内外に向けて情報発信を行う。

問 周南市地域づくり計画に共創プロジェクトを立ち上げるにあたり具体的な策は何か。

答 地域団体やNPO法人、企業、学校等、2つ以上の団体の連携によって発案された、福祉や子育て、環境問題など、さまざまな分野の課題解決につながるプロジェクトの策定、また、その取り組みの活動の確実な実行を支援するプログラムである。多様な主体が連携するとともに、協力し合う

ことで、さまざまな地域づくりのアイデアが出てくることを期待している。

問 次代を担う子どもたちに贈る能力を最大限に引き出すとあるが、その内容は。

答 これからの時代はこれまで以上に社会が急激に変化し、それに伴って先行き不透明な時代、想像もしないほど進んだ情報化社会をイメージしている。そうした中で、子どもたちには周南市に生まれた誇り、愛着、志を胸にしなから、自分の夢の実現に向かって継続的にチャレンジし続けていく姿を思い描いている。

問 周南市におけるICT教育環境の整備の必要性はどれくらい高いのか。

答 これから子どもたちが生きていく上で、非常に重要な教育のジャンルである。周南市だけでなく、日本、世界の

子どもたちにとって不可欠な教育のテクノロジーとされている。



ICTを活用した授業風景

問 中学校普通教室への空調設備の整備とは。

答 生徒が、夏場や冬場の期間に学習に集中できる環境を整備していきたい。一斉整備は非常に大きな負担がかかるため、平成28年度は基本設計をし、実施設計については、まず効果が大きいと期待されるから、年次的に進めたい。

まちの魅力向上と発信

問 (株)クヤマで発電する安定・安価な電力の供給を受けて本市の魅力向上を図るとあるが、その内容は。

答 コンビナート電力活用推進事業の取り組みは、周南市

ならではの事業である。市街地と隣接しており、コンビナート自家発電システムの電力の有効活用、そして中心市街地へ「ひと」と「しごと」を呼び込む展開を考えている。

問 クリエーティブ産業の進出とは。

答 これからは知恵の時代になり、数値や量で表すことができない21世紀型の新しい価値を創造する産業がクリエイティブ産業である。取り組み体制については、現在戦略を練っている。

問 企業誘致のための税制優遇措置や補助金等で、他市より有利とするインセンティブは何か。

答 市独自で、国・県の制度にさらに上乗せしていきたい。また、環境整備や生活・子育て支援などで総合的な町の価値を高め、「しごと」が「ひと」を呼ぶ好循環のまちづくりをしていきたい。

中山間地域の活性化策
問 中山間地域創発事業として、現在までどれくらい採択されたのか。

答 これまで夢プランの策定支援で12団体、実現支援で9団体、好循環創出支援で6団体を採択している。今後、全市に拡大し共創プロジェクトに取り組むことにしている。

【新年度予算質疑】

重点配分及び今後の見通しは
問 新年度予算の重点配分は。

答 厳しい予算編成の中で、将来に対して必要な安心安全町の活性化、将来の宝である子育て支援等に重点配分した。

問 今後の財政見通しは。

答 普通交付税の段階的縮減が平成28年度50パーセント、29年度が70パーセント、30年度が90パーセント、31年度が100パーセントの一本算定になる。自主財源でも、固定資産税については地価の下落が続いており、法人市民税も増を見込むことが難しい。また、歳出面では扶助費の増、公共施設の維持管理費の増など、今後も厳しい財政運営が続く。

公明党



【議員名】
吉平龍司、相本政利
金井光男、金子優子

【施政方針質疑】

子育て支援（保育の拡充）

問 認定こども園や事業所内保育施設が民間事業者により開設される見込みとなっているがどのような施設になるのか。

答 平成28年度から認定こども園が2施設、事業所内保育施設が1施設、小規模保育施設が2施設開設され、全体で111名の拡充となる。

問 民間事業者の参入による預ける側のメリットは。

答 保護者の方の選択の可能性が広がるのが、一番のメリットである。

道の駅ソレーネ周南の展開は

問 国交省の重点道の駅に認定され、3年目を迎える道の駅ソレーネ周南のさらなる発展に、市としてどう関わっていくのか。

答 新たな福祉の包括支援センターのブランチ（相談窓口）を設けることになり、福祉の視点からいろいろな可能

性があり、世界に誇れる道の駅をつくっていきたい。



今後、福祉包括支援センターの相談窓口が設置される道の駅ソレーネ

発達障害支援

問 大人の発達障害の連続講座とは。また、今後の支援の拡充は。

答 年間7回の開催を予定しており、支援者、当事者、家族等を対象としている。今後

も継続して取り組み、支援のネットワーク構築につなげて

いきたい。

自主防災組織活動の活性化

問 これまで自主防災組織活動のハード的支援は設立支援

が主であり、平成28年度からは地域での活動格差解消支援に取り組まれるが、ソフト的な支援の考え方はどうか。

答 平成27年度に本市5人目

の防災アドバイザーを任命し、これまでの4名を含めて各々の得意分野で防災組織へ派遣し、活動の充実を図る取り組みを検討していく。

事業継続計画（BCP）策定
問 ハード整備（防犯情報収集伝達システム・新庁舎等）が大きく動き出した今こそBCPの策定が不可欠では。

答 BCPは、平成27年度に準備を進めてきたが、策定に至らなかったため、今後さらに進捗を図っていく。

また、新庁舎完成までにはさまざまな行政サービスの効率化を含めたソフト面の整備を検討していく。

文化スポーツの振興
問 教育や文化スポーツで掲げた地域資源を生かした特色のある教育、また周南の未来を担う人材の育成、特色ある文化の発信とスポーツコンベンションシティー等の取り組みを、市民力や職員力の維持向上へどう結び付けていくのか市長の取り組みの原点を問う。

答 一朝一夕ではなくて、長期的な視点から文化・芸術等も、さらに進め、進化させるということが、人を育てるといふことであり、周南市の働

値を高めるといふことにつながると確信している。

【新年度予算質疑】

学校非構造物耐震改修事業

問 学校の非構造物耐震改修事業の状況は。

答 対象は体育館のつり天井部分で残りは8校分。平成28年度は2校の実施設計を行い、今後3力年の計画で取り組む。



つり天井

【一般質問】

国土強靱化地域計画の策定

問 どのような自然災害等が起こっても機能不全に陥らず、いつまでも元気であり続ける強靱な地域をつくり上げるための「国土強靱化地域計画」の策定状況は。

答 平成27年度中に県の計画が策定予定であるため、その後、本市の計画策定に向けた検討を開始する。

参輝会



【議員名】
福田文治、長嶺敏昭
青木義雄、岸村敬士

【施政方針・新年度予算質疑】

新徳山駅ビルや新庁舎にコンビニート企業から余剰電力の供給を受けるためのインフラ整備

問 株式会社ヤマ東工場から電力供給を受けるといふ他の都市では真似のできない画期的な施策だが、送電設備が市の負担となれば大きな投資が必要ではないか。費用対効果は大丈夫か。

答 工事は、不確定だが5億円程度を見込んでいる。電力量は最終的には7000キロワット枠で現行電力単価より3割程度安くなり、年間電気料金削減額は1億2000万円と試算している。

また、安定・安価な電力供給をうたうことで周辺地域の魅力が高まる。

問 新徳山駅ビルや新庁舎の竣工に間に合うのか。中国電力の受電装置と二重投資にならないか。

答 新徳山駅ビルや新庁舎の竣工に間に合うのか。中国電力の受電装置と二重投資にならないか。

〔会派一般質問〕

〔新徳山駅ビル、新庁舎の開館は、平成30年度を目途にしている。できれば間に合わせ、無駄な二重投資は避けたい。〕

〔新徳山駅ビルに利用すれば施設のランニングコストが下がるが、指定管理料の査定にどのよう影響しているのか。〕

〔新徳山駅ビルの指定管理者が決まり契約を結ぶ段階では中国電力の単価を示したもので契約するが、電気料金が削減される見込みがあり、「変更がある」という条文を加え契約に対応する。〕

サテライトオフィス誘致

〔中山間地域企業促進事業で、我々がかねてより提案してきたサテライトオフィス誘致予算が計上されている。この予算の内容はどうか。〕

〔施設の改修補助として300万円、不動産の賃貸料補助として50万円、通信回線の使用料補助として5万円である。〕

用語説明

※サテライトオフィス

市街地にある企業または団体の本社から、離れた所に分散して設置されたオフィス。コンピューターや通信設備を完備し従業員に提供し、完全な在宅勤務を実現することで、通勤の混雑緩和などの利点がある。

〔会派一般質問〕

〔駅西側に新設する駐車場に加え、駅前地下駐車場も一定時間無料に〕

〔新設する徳山駅西駐車場は、最低でも1時間無料にするべきと思うがどうか。〕

〔新徳山駅ビル図書館利用者の平均滞留時間を1時間と想定し、条例案で1時間無料と規定している。また、徳山商店連合協同組合の共通駐車サービス券も利用できる駐車場にしたい。1時間を超えた場合、最初の1時間以内は200円、以後30分ごとに100円加算することになっている。〕

〔駅前地下駐車場は駐車スペースなど、時代の要求に即応したリニューアルとともに利用料金の一定時間無料化をぜひとも英断して商店街への回遊性、滞留性を高める戦略が必要だがどうか。〕

〔駅前地下駐車場は、平成28年度に設計、29年度に工事を実施し、30年度のリニューアルオープンを目指している。一定時間無料制度は、利用者の利便性につながるサービスであり検討を重ねてきたが、幾つかの課題もある。〕



徳山駅前駐車場

周南市に大河ドラマ「真田丸」にまつわる真田氏の痕跡が

〔久米院内の原江寺に真田幸村の子、幸晴夫婦のものと言われる墓と六文銭を彫った石碑が存在する。このほど、新たな資料が発見され伝説・伝承から史実に近づいたが、このことが地域の活性化や周南市PRの起爆剤になる可能性を十分含んでいるが、市の考えはどうか。〕

〔大河ドラマ「真田丸」のクライマックス、さらには放送終了後も含め新しい史実を期待しながら、地域の取り組み内容を伺い、可能な支援の方法について検討していく。〕

嚆矢会



〔議員名〕 古谷幸男、西田宏三、尾崎隆則、友田秀明

〔施政方針・新年度予算質疑〕子育て支援の方針は

〔医療費の助成が小学6年生まで拡充となっているが、中学生まで広げていく視点が あるのか。〕

〔視野に置き、取り組む。公立保育所の再編整備の加速化は、保護者や地域現場の声を掌握して取り組んでいくのか。〕

〔現場の保育士、また保護者の声を聞き、スムーズな民営化への移行を考え、進める。〕

新徳山駅ビルに民間活力図書館導入への方向性

〔指定管理者の選定は公開となるが、何を最も重視するのか。また、回遊性への考え方はどうか。〕

〔おもてなしの場・市民の居場所・にぎわいと交流の場所を実現することが目的であり、この3つの実現により、回遊性を高めることができる。〕

中山間地域の振興は

〔農業委員会の仕組みが変わり、農地の確保を中間管理機構の中で取り組んでいく方向性はどうか。〕

〔所管課とやまぐち農林振興公社と協力し、農地の確保をしていく。また、現在の農業委員と協議して、新しい農業に取り組む。〕

用語説明

※中間管理機構

農用地等を貸したいという農家（出し手）から農用地等の有効利用や農業経営の効率化を進める担い手受け手へ農用地利用の集積・集約化を進めるため、農用地等の中間的受け皿となる組織。

〔空き家対策として、遊休施設の活用だけで十分なのか。〕

〔中須と須金の医師住宅、またその他使える施設を移住・定住促進に活用するなど積極的に取り組んでいきたい。〕



移住者用住宅として活用される 旧須金診療所医師住宅

教育環境の整備は

問 中学校から空調整備の整備を行うが、小学校の整備についてはどうするのか。

答 小学校の整備については、中学校の状況を見て検討する。

市道改良単独事業予算拡大

問 昨年の一般質問で取り上げたが、予算は幾らになったのか。

答 平成27年度は625万円が、28年度は2675万円と大幅に増額した。

【会派一般質問】

古川跨線橋かけかえの進捗状況は

問 古川跨線橋のかけかえによる通行止めの期間と交通渋滞対策は。

答 通行止めについては、工事計画の中で示していく。渋滞対策は、企業や市民と検討し、合意形成を図り、情報提供をしっかりと進めていく。

熊毛地域の上下道の整備状況は

問 熊毛地域の上下道の供給地区・説明会の開催日程、団地外で井戸水を使用している家庭への対応は。

答 平成28年度中に、全ての簡易水道区域で供給される。説明会は、28年度の早い時期

から小さな単位で行う。また、未普及地域は、本管から分岐する管とメーターボックス等については、加入する世帯の費用負担となるが、事業の説明をし、加入促進に努めている。

西部3地区への取り組み

問 夜市・戸田・湯野の地域をどう捉えているのか。

答 山・川・海などの自然環境、湯野温泉の観光、道の駅を拠点にした農業漁業の振興など、多様な資源の可能性を秘めた地域である。3地区が連携し、人口定住や活性化を職員も一緒に進めていく。

武道館建設は

問 周南市に武道館は必要か。

答 周南市武道連盟から県立武道館建設の要望があり、確実に一次要望の中にも上げていく体制をとる。

単市土地改良事業の受益者負担はこれぐらいか

問 単市土地改良事業の受益者負担を10パーセントにすべきではないか。

答 単市土地改良事業の制度の見直しを図っていききたい。今後検討する。

刷新クラブ



【議員名】
小林雄一、田中和末
田村隆嘉

【会派一般質問】

大型商業施設の出店に伴う安全対策は

問 本年秋季に青山町に大型商業店舗が出店する予定になっており、工事が進められている。工事期間中及び交通量の増加が予想される中で変則的な交差点の安全対策は。

答 青山町交差点は県道、市道3線が交差し、朝夕は慢性的な渋滞が発生している。周辺の安全対策として、地元自治会や小学校関係者等の意見を聞きながら、市、県、警察、商業者等が一体となって、県道、市道の車線増加や安全な歩行者動線の確保を盛り込んだ交差点改良計画を策定した。今後は計画に基づき工事が実施される。工事中および供用開始時においても交通誘導員を配置して安全対策に万全を期する。また、完成後も安全対策等の検証を実施し、必

要な改善を行う。



慢性的な渋滞が発生する青山町交差点

新徳山駅ビルの管理運営

問 現在の直営図書館5館とのすみ分けを言われているが、イメージ的にはどうなるのか。

答 既存の5館の図書館については、これまでどおり地域の読書活動、生涯学習の支援、郷土資料や地方行政資料等を収集、整理、保存し、活用する中で知の拠点としての役割を担う。一方、新しい図書館は民間活力を導入し、年中無休と夜遅くまでの開館により、いつでも利用できる場所になる。

また、お茶やおしゃべりを楽しみながら、ゆっくり本を

読んだり、電車やバスの待ち時間に利用するなど、知の広場として、気軽にカジュアルな使い方をしてもらえる。

他市において選書の問題が発生しているが、新しい図書館と既存の直営5館の館長が運営、選書について協議する仕組みを考える。

【施政方針質疑】

周南市版ネウボラの取り組みは

問 子育て支援策として、来年度、ワンストップ相談窓口として、子育て世代包括支援センターを設置し、周南市版ネウボラを目指すとして、施政方針に掲げているが、目指すべき方向性は。

答 ネウボラとは、妊娠期の妊婦、生まれてくる子ども、その子育てをする家族を長い期間にわたって支援をする場を設けるものである。平成28年度は、徳山保健センターに子育て世代包括支援センターの一番基になる部分をつくり、以後は相談の場を各地域の子育て支援センターに広げていき、直接子どもさんや家族の方に、町の保健師や専門職が応対し、きめ細かな支援をする体制を目指している。

政志会



「議員名」
伴 凱友、長谷川和美

夜市・戸田・湯野・富田東・富田西・福川・福川南・和田・中学校では、菊川・桜田・須々万・富田・福川・和田の16校である。

【施政方針質疑】 少子化対策の本気度を問う

問 子育てするなら周南市を標榜するならば、どのような場合でも、保育所入所を可能にすべきだ。若い人は働き、子育てと年配者を養う大きな任務を果たしている。小学生に待機児童はおらず、可能なはずであり、それだけの決意を持って取り組むべきだがどうか。

答 少子化対策、子育て支援は待ったなしであり、しっかりと取り組むことを約束する。

【会派一般質問】 八代の鶴保護

問 八代地区を自衛隊のヘリコプターが飛んだようだが、どう対処されたか。

答 2月25日のヘリコプター飛行について、自衛隊に文書で飛行自粛要請を行った。

【会派一般質問】 学校給食

問 宇部市で前日製造されたパンが届く学校は。

答 小学校では、菊川・沼城・

アクティブ



「議員名」
岩田淳司、井本義朗

止のキャンペーンでコンビ二などにチラシ配布、5基の新設の撤去を昨年に引き続き行うなどの活動を予定している。

【施政方針質疑】 野犬対策

問 野犬対策として平成21年頃からずっと取り組んでいるが、効果が出ていない。先日、周南団地交番にパトロール中に緑地公園にも入ってもらい給餌者に対し「市の条例違反ですよ」などの呼びかけを依頼したが、今後市としては具体的にどう取り組むのか。

答 平成27年度は、2月末で227件と苦情が前年度までの倍以上で、周南緑地だけで87件、全体の3割を占めている。今後は、迷惑な餌やり禁止のキャンペーンでの

【施政方針質疑】 東京オリンピックのキャンピング地誘致

問 東京オリンピックのキャンピング地の誘致に積極的に取り組んでもらいたい。昨年6月の提案以降の検討で対象となる国、競技、使用する施設、誘致方法などの整理はできたか。

答 対象国は、姉妹都市提携のあるオランダ、オーストラリアを中心に働きかける。競技種目は柔道、ハンドボール、バスケットボール、卓球、バレーボール、レスリングの6競技、練習施設はキリンビバレッジ周南総合スポーツセンターとした。柔道は、組織委員会を通じて事前キャンプ候補地のホームページに登録し、他の競技は県と関係市町で構成する組織で各国の競技団体に情報提供していきたい。

【施政方針・新年度予算質疑】 高齢者のバス利用に運賃助成を

問 比較的元気な高齢者の皆さんが、外出していない状況で社会参加やひきこもり等がなくするため、バス運賃の助成をしてはどうか。

答 本市では、市域が広いことから、バス料金の助成を行った場合、住んでいる地域によって不公平感が生じることが予想される。

【施政方針・新年度予算質疑】 バス運賃助成については、事業効果もあわせて研究したい。

問 このようなソフト事業は、その自治体の福祉のパロメーターにもなる。市長の政治姿勢を示していただきたい。

答 「共に」の仕組みづくりの中で、福祉政策を行う。

会派に属さない議員



「議員名」
中村富美子

野犬対策キャンペーンでの緑地公園内巡回の様子

【施政方針・新年度予算質疑】 野犬対策

問 野犬対策として平成21年頃からずっと取り組んでいるが、効果が出ていない。先日、周南団地交番にパトロール中に緑地公園にも入ってもらい給餌者に対し「市の条例違反ですよ」などの呼びかけを依頼したが、今後市としては具体的にどう取り組むのか。

答 平成27年度は、2月末で227件と苦情が前年度までの倍以上で、周南緑地だけで87件、全体の3割を占めている。今後は、迷惑な餌やり禁止のキャンペーンでの

【施政方針・新年度予算質疑】 バス運賃助成については、事業効果もあわせて研究したい。

問 このようなソフト事業は、その自治体の福祉のパロメーターにもなる。市長の政治姿勢を示していただきたい。

答 「共に」の仕組みづくりの中で、福祉政策を行う。

【施政方針・新年度予算質疑】 野犬対策

問 野犬対策として平成21年頃からずっと取り組んでいるが、効果が出ていない。先日、周南団地交番にパトロール中に緑地公園にも入ってもらい給餌者に対し「市の条例違反ですよ」などの呼びかけを依頼したが、今後市としては具体的にどう取り組むのか。

答 平成27年度は、2月末で227件と苦情が前年度までの倍以上で、周南緑地だけで87件、全体の3割を占めている。今後は、迷惑な餌やり禁止のキャンペーンでの

【施政方針・新年度予算質疑】 野犬対策

問 野犬対策として平成21年頃からずっと取り組んでいるが、効果が出ていない。先日、周南団地交番にパトロール中に緑地公園にも入ってもらい給餌者に対し「市の条例違反ですよ」などの呼びかけを依頼したが、今後市としては具体的にどう取り組むのか。

答 平成27年度は、2月末で227件と苦情が前年度までの倍以上で、周南緑地だけで87件、全体の3割を占めている。今後は、迷惑な餌やり禁止のキャンペーンでの



樹木の樹形を生かす透かし剪定



野犬対策キャンペーンでの緑地公園内巡回の様子

周南市議会では、市民と議会との一層の信頼関係を築くため、平成27年6月に政治倫理条例検討特別委員会を設置して、大幅に条例の見直しを進めてきました。

合計12回の委員会で協議を行った結果、第2回定例会本会議において、「周南市政治倫理条例の全部の改正する条例制定について」が全会一致で可決されました。このことにより、平成28年3月16日をもって政治倫理条例検討特別委員会は解消されることとなりました。

今回の特集では、周南市政治倫理条例の改正の概要について説明します。

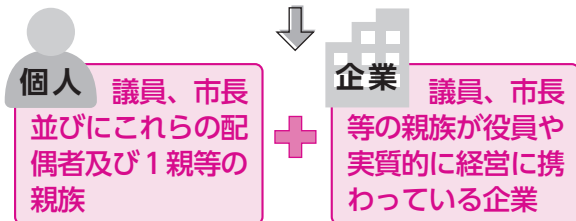
改正の目的

周南市議会においては平成17年に政治倫理条例を制定し、市民と議員、相互の信頼関係を築くため、政治倫理規準に基づいた、市政の推進・発展に努めてきました。しかし、制定以来10年を経過したことから、時代にふさわしく、周南市議会としてより精度の高い政治倫理の確立を目指すこととしました。

改正の内容（拡大）

1 第4条 「市」との請負契約等の辞退の範囲

- 議員、市長並びにこれらの配偶者及び
1 親等の **血族** → **親族**
- 議員、市長並びにこれらの配偶者及び
1 親等の **血族という個人**



2 第16条 市民の調査請求権

- 議員、市長の資産等報告書等に関する疑義
- 政治倫理規準に違反する疑い



新たにこの3点が調査請求対象に追加されました。

- 請負契約等の辞退に違反する疑い
- 指定管理者の指定の禁止に違反する疑い
- これ以外に、この条例に明らかに違反する疑い

2 第7条 資産等報告書の提出対象者

土地、建物、預貯金、借入金、貸付金等の資産等報告書の提出対象者

議長、副議長 → **全議員**



改正の内容（新設）

1 第5条 指定管理者の指定の禁止

議員、市長並びにこれらの配偶者及び1親等の親族が役員をしている企業、団体は原則指定管理者になることはできません。また、指定管理者が公共団体又は公共的団体の場合は、「市」との請負契約等の辞退に努めることになりました。

2 第9条 資産等報告書等の審査

資産等の報告書等については毎年、政治倫理審査会の審査を受けることになりました。

臨時会の概要

新徳山駅ビル建設の中核施設としてカルチャ・コンビニエンス・クラブと連携した図書館設置計画の是非を問う住民投票条例制定について

否決
(賛成少数)

この議案は、市がCCC（カルチャ・コンビニエンス・クラブ）と連携して図書館の整備を進めることに反対する署名が8,739名分集められ、住民投票条例制定の本請求がされたことを受け、2月17日に議会に上程されました。

木村市長は住民投票条例制定により事業が中断されれば市民の損失は多大で、市民や議会と一緒に進めてきた事業であるため、制定すべきでないかと否決を求めました。19日には条例制定請求代表者の意見陳述、委員会審査が行われました。

徳山駅周辺整備対策特別委員会での審査

議案の審査をより慎重に行うため、条例制定請求代表者を参考人として招致し、意見聴取および質疑を行いました。

参考人に対する主な質疑

問 愛知県小牧市で、CCCと連携した新図書館計画が問題となったから、民間活力導入図書館を問題としたのか。

答 小牧市で問題が発生して、小牧市の方々との情報交換をする中で、大変さを知り、今回の住民投票条例制定の直接請求運動を始めた。

問 駅ビル建設自体は賛成で、民間活力導入図書館についての賛否が聞きたいのか。

答 民間活力導入図書館の建設に反対である。

問 署名活動は、民間活力導入図書館建設に反対という1点に絞って行われたのか。

答 署名簿の表紙に、新徳山駅ビルの中核施設としてCCCと連携した図書館設置計画の是非を問う住民投票条例制定と記載され、署名収集受任者にもその旨を伝え、そのような趣旨で集められたと、理解している。

執行部に対する主な質疑

問 住民投票を求める住民に対して、市が対案を求めることが正しい態度だと思うか。

答 民間活力導入図書館に決定して以来、2年間経過し、議会、特別委員会の決定および市民の皆様の意見も反映しながら進めてきた。住民投票を行わず、粛々と進めたいため、対案がない請求は非常に難しい。

討論前に、条例の題名を変更し、投票の期日を市議会議員選挙に合わせることで、また投票率50パーセント以上を成立要件とする修正案が提出されました。

賛成討論 否決すれば、住民を政治から遠ざけることになる。

反対討論 進捗状況を確認しながら、問題点をただし、他市で発生した問題についても、選書や運営方法について、市が責任を持つことを確認してきた。駅ビル着工が目前に迫っているこの段階で住民投票を行うのは、大幅な後退につながる。

委員会審査結果 原案および修正案ともに否決（賛成少数）

本会議での討論

賛成

■ 住民投票をするということは、この計画をもう一度皆で徹底して議論し直すということである。住民の納得を得ないまま進めると、まちづくりは停滞する。

■ 市政は市民の協力なしには成り立たず、市民のための市政でなければならない。住民投票条例は、市民参画の立場からも市政へ市民が関与する上で、大変重要である。

反対

■ 民間活力導入図書館の計画以上に市民の期待に応え、町のにぎわいを生み出せるものはない。住民投票には反対であるが、8,739名の署名が集まった事実はしっかり受け止め、今後市民の理解が高まるよう最善の努力をすることを望む。

■ 中央図書館があり、無駄な投資との意見だが、中央図書館はさらなる市民参画を促し、レファレンス機能の充実や旬な話題に即応した図書展示など、独自の活性化を目指し、市民ニーズに応じていくことで他の図書館にも刺激を与える。民間活力導入図書館と既存の図書館は、市民のために連携しながら、今後は別々の進化発展をしていくべきである。

■ CCCが指定管理者になることへの危惧が反対理由だが、指定管理者は公募により決定されるため、住民投票の焦点にならず、直接民意を問うには根拠が不十分である。

議案等の議決結果

全会一致で承認

・市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定についての専決処分を報告し、承認を求めることについて

賛成多数で可決

・工事請負契約の締結について（3件：（仮称）新徳山駅ビル及び付帯駐車場棟の建築主体、電気設備、空調設備工事）

報告：損害賠償の額を定めることに関する専決処分について（2件） **議会報告**：例月出納検査の結果（2件）、定期監査結果（2件）
行政報告：周南市介護老人保健施設使用料手数料条例の改正漏れについて

委員会レポート

各常任委員会が議案の審査以外に調査を行ったものや、特別委員会での協議内容を報告します！

福川漁港用地に西部地区学校給食センターを整備

◆ 執行部の説明(要旨) ◆

築後35年が経過した徳山西・新南陽センターは、老朽化が進み、一刻も早い代替施設の整備が必要であるため、新南陽福川漁港用地に4,000食の新センターを整備したい。平成28年度は、用地の地質・土壌調査、造成工事、PFI方式の導入可能性調査を行う。その結果、PFIが有効という場合、また無効で直接施工となる場合、どちらでも遅くとも32年度当初稼働を目指している。

教育福祉委員会での調査

問 PFI導入は見込みがあつてのことなのか。

答 新センターは、PFI事業導入の検討対象となる、建設費10億円以上、運営経費も各年度1億円相当であるため、市にとってメリットがあるのかをしっかりと検証するため、導入可能性調査に着手したい。

問 総合戦略で出生率を上げていくと掲げているが、出生率が上がった場合、4,000食の新センターで足りるのか。

答 実際の調理能力に対する平成32年時点での実数は90パーセントよりも低くなるので、すぐに足りなくなるという状況ではない。

問 当初の計画では、なるべく自校式に近い形で12センターという計画であった。12センターから7センターに、また4,000食の大型センターへ変更とあるが、当初の理念からは変わっているのでは。

答 学校の統廃合、また児童生徒の推移も見ながら、計画をつくるが、その時の状況でずれがどうしても出てくるので、現状の中で対応可能な方法を探ってきた。今最もこうあるべきだということはいっしょに考えている。



建設予定地の福川漁港用地

周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定について

◆ 執行部の説明(要旨) ◆

周南市総合戦略(案)及び周南市総合戦略に関する決議に対する対応について、前回の委員会での質疑や各会派からの意見を基に、議会からの要望決議に対し、「掲載を見送る」としていた表現を、「素案を修正し、事業実施に向けて、調査・研究を行う」と、「事業実施の可能性について、調査・研究を行う」という2種類の表現に修正した。

また、若い女性の人口減少に対する施策を構築して、今後、総合戦略に掲載できるように取り組んでいきたい。

今後は、PDCAサイクルを導入し、*KPIの達成に向けた検証を行う中で、より効果的な施策展開が図れるよう努め、議会からの提案事業も、調査・研究を重ねた上で検討し、実施が可能となった時点で総合戦略を修正していきたい。

また、これから先の社会情勢などを見極め、まちづくり総合計画後期基本計画の策定時においても、内容を検討したいと考えている。

用語の説明 ※KPI 組織や事業、業務の目標の達成度合いを図る適量的な指標のこと

今回、周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略が、2月1日に公表されたことから、周南市総合戦略等策定に関する特別委員会は、2月臨時会での報告をもって解消しました。



周南市地域公共交通網形成計画について

◆ 執行部の説明(要旨) ◆

計画策定の目的は、公共交通の役割を明確にし、まちづくりに寄与する持続可能な公共交通を形成するため、公共交通ネットワークの将来像やその実現に向けた方策について示した、公共交通のマスタープランとすることであり、基本理念を「共につくり未来につなぐ公共交通」とした。

環境建設委員会での調査

問 これまでの計画と今回の違いは。

答 大きな違いは、バス路線を再編することである。

問 コミュニティー交通の導入地区数の目標値を8地区とした根拠は。また、地域への車両の提供等はあるのか。

答 現在、鹿野、大道理、大津島の3地区にコミュニティー交通を導入している。加えて昨年、中山間地域検討会で検討した、中須、須金、長穂、須々万と、現在地元と生活交通に関する協議を行っている八代の5地区を想定して、トータルで8地区と目標値を設定した。また、地域を支援する取り組みで、車両などの初期費用等について行政で負担できるよう検討する。

問 観光施設への巡回型路線とあるが、医療機関への循環線を検討してはどうか。

答 新しくなる動物園および駅ビル間の狭いエリアでの循環を想定し、病院への循環は想定していない。医療機関等に直接行く路線は、別の事業で交通事業者と検討していく。

議会だよりアンケートの集計結果

たくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。

応募いただいた方の中から抽選で33人の方にプレゼント（徳山動物園年間パスポート、まどみちおさんグッズ）を進呈しました。当選の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

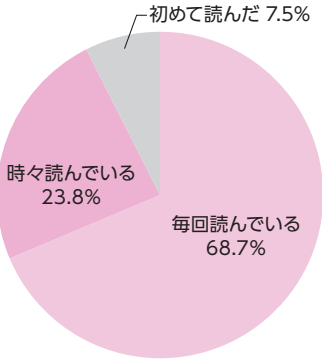


周南市議会では、市民の皆さまのご意見を参考に議会だよりを分かりやすく読みやすい紙面とするため、議会だより53号（平成28年2月15日発行）でアンケートを実施しました。67人の方からご回答頂いたアンケートの集計結果を報告いたします。

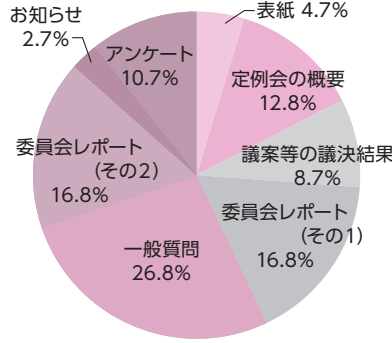
皆さんの意見を参考に、議会だより編集委員会と協議を重ね、5月1日発行号から紙面をリニューアルしました。今後とも、より市民の皆さんが議会に興味を持っていただけるよう、充実した紙面づくりに努めてまいります。今後も議会だよりをぜひご愛読ください。

- 実施期間：平成28年2月15日～平成28年2月29日
- 件数：67件
- 性別：男性：26人、女性41人
- 年齢：20代 7.5%、30代 19.4%、40代 10.4%、50代 12%、60代 23.8%、70代 16.4%、80歳以上～ 9%、無回答 1.5%

問1. 「議会だより」を読んでいますか



問2. 今回の「議会だより」でよかったページはどこですか。（複数回答可）また、その理由をお聞かせください。



表紙

・表紙を見た時、内容が難しそうだと最初に感じました。

委員会レポート(その1)

・各委員会での活動の詳細が理解できる。
・どのようなことが問題になっているかがよく分かる。

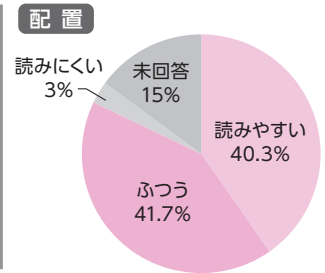
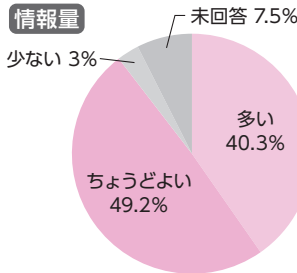
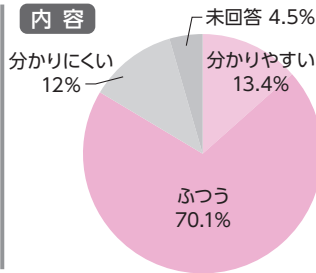
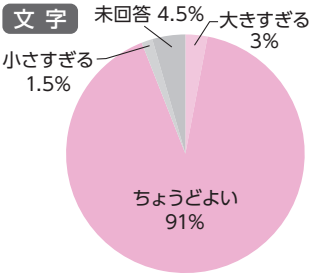
一般質問

・議員の方の個人の関心事、力を入れたい事が分かる。
・各議員の取り組みと市民の意見が通じているか分かる。
・顔写真を取り入れたので名前と顔が一致できる。

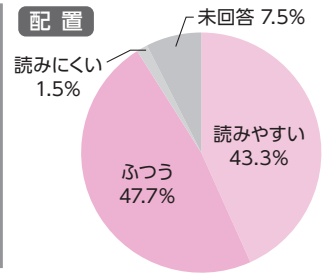
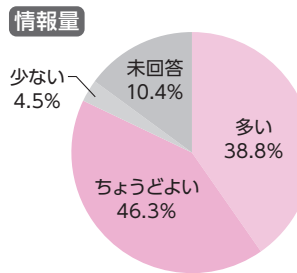
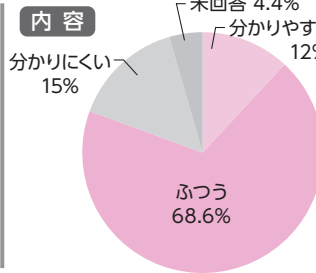
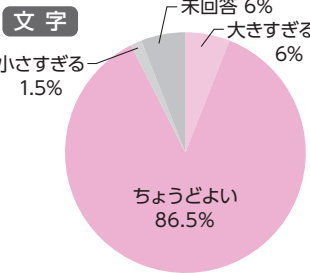
アンケート

・アンケートで市民の意見を取り入れる事は、重要だと思いますから。

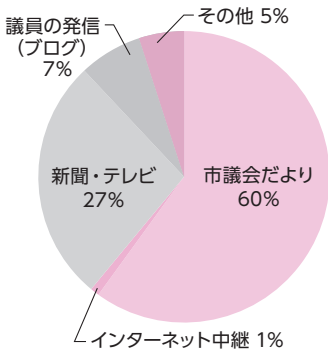
問3. 今回の「議会だより」を手にとってみて、どのように感じましたか。



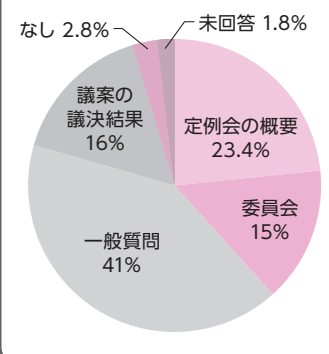
問4. 今回リニューアルした一般質問のページについて、どのように感じましたか。



問5. 議会で議論された内容はどこで得ますか。（複数回答可）



問6. 「議会だより」に関心のある記事は何ですか。（複数回答可）



問7. 「議会だより」でどのような情報が知りたいですか。

- ・新徳山駅や中心市街地の今後の動向。
- ・子育て支援や世代別に聞いた街の声。
- ・一般質問の詳細な内容、その後の経過について。
- ・議員の政務調査費の公開情報、その他の質問の詳細、議員ごとの年間出席日数と質問回数、議決結果の内訳。
- ・一つのことをもっとクローズアップして深く内容を知りたい。
- ・親しみやすく、読みやすい工夫が感じられていいなと思います。もっと柔軟に、もっとかみくだいて広い年代に読まれる努力を。

問8. タイトル

タイトルについては、さまざまな意見をいただきましたが、これまでの「周南市議会だより」が一番シンプルで分かりやすいとの意見が12件ありました。ただ、ロゴを変更してはとのご意見がありましたので、ロゴを変更しました。

お詫びと訂正

議会だより53号（平成28年2月15日発行）の4ページ〔委員会レポート(その1)〕に誤りがありました。 ※ (誤) とも医療部 ⇒ (正) とも健康部